



# 給食 5月 がより



令和5年4月28日  
中野区立令和小学校  
校長 松井 敏  
栄養士 高橋 遥香

さわやかで過ごしやすい季節になりました。学校給食は子どもたちが栄養バランスのとれた食事をクラスの間や先生と一緒に食べ、そのふれあいの中で心を豊かにし、体の健康を育てていきます。さらに給食を「生きた教材」として、健康的に過ごすためのよい食べ方やマナー、協力の大切さや感謝の心を育む食育が進められます。今年度も楽しく、安全でおいしい給食を目指していきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 学校での食育

学校給食は、学校での教育活動の1つに位置づけられています。また日本の学校教育の指針である「学習指導要領」では、食育についてご家庭や地域社会と連携を図りながら学校全体で取り組んでいくことが示されています。学校で行う食育は以下の6つの観点から進められます。

### 食の重要性



食べることの喜び、楽しさ、そして重要性を知る。

### 心身の健康



成長や健康に望ましい食べ方を知り、実践できる。

### 食品を選択する能力



正しい知識や情報に基づき、品質や安全性を自分で判断できる。

### 感謝の心



食べ物を大事にし、食事にかかわる人々に感謝する。

### 社会性



食事のマナーを守り、食事を通して豊かな人間関係を築く。

### 食文化



各地域の産物や食文化、その歴史などを知り、尊重できる。

## 給食が始まりました

4月10日に2年生から6年生の給食が、12日に1年生の給食がそれぞれ始まりました。どの学年も担任の先生の話をよく聞き、よく味わって食べていました。

給食の時間は、栄養バランスのとれた献立をしっかりと食べることはもちろんですが、食事前の手洗い、盛りつけ、配膳、後片付けなど、一つひとつが大切な勉強になっている時間です。教室から戻ってくる空っぽの食缶を見ると、調理員や栄養士の励みにもなっています。